

令和4年第3回

幸手市教育委員会定例会会議録

招 集 期 日	令和4年3月22日（火）午前9時30分					
開 会 場 所	市役所第二庁舎 2階 第1会議室A					
開会の日時・宣告者	令和4年3月22日（火）午前9時30分				山西 実	
閉会の日時・宣告者	令和4年3月22日（火）午前11時45分				山西 実	
出席 状 況	職 名	氏 名	摘 要	職 名	氏 名	摘 要
	教 育 長	山 西 実	出 席	教 育 委 員	高 島 勝 也	出 席
	職務代理者	会 田 研 司	出 席	教 育 委 員	藤 沼 寛 次	出 席
	教 育 委 員	岩 崎 万 紀 子	出 席	教 育 委 員	古 沢 万 友 実	出 席
傍聴人：0人				書 記：大 竹 孝 典・河 口 奈 緒		
議 事 参 与 者	職 名	氏 名	職 名	氏 名		
	教 育 部 長	木 村 卓 朗				
	総 務 課 長	服 部 道 春				
	学校教育課長	堀 越 成 夫				
	社会教育課長	百 瀬 修				

会議事件名	顛末
<p><b>開 会</b> 午前9時30分</p> <p><b>日程第1</b> <b>前回会議録の承認</b></p> <p><b>日程第2</b> <b>議 事</b> <b>議案第13号</b> 幸手市立吉田幼稚園跡地の財産の移管について</p> <p><b>議案第14号</b> 幸手市教育行政重点施策について</p>	<p>教育長 開会を宣する。</p> <p>教育長 令和4年第2回教育委員会定例会及び令和4年第1回教育委員会臨時会の会議録の内容について承認を求める。 《<b>質疑</b>》 質疑なし。 《<b>承認</b>》 全員異議なく承認。</p> <p>総務課長 議案書により説明する。 《<b>質疑</b>》 古沢委員 先日、園舎を拝見して、教育的・文化的価値が非常に高い施設だと感じた。今後も子どもたちが接する機会があると良いと思う。そこで、跡地利用の進捗状況について伺う。 総務課長 市長部局が跡地利用を検討するプロジェクトチームを立ち上げ、今年度2回の会議を開催している。吉田幼稚園は農村部にあり、用途に制約がある地域だが、この制約に縛られず、自由な発想で跡地利用の案を各課から示してもらい、現在、取りまとめている状況である。 《<b>採決</b>》 全員異議なく原案どおり議決。</p> <p>総務課長 議案書により説明する。 《<b>質疑</b>》 藤沼委員</p>

	<p>良くまとめられており、大変分かりやすい。</p> <p>岩崎委員</p> <p>学校の働き方改革の取組の一つとして、部活動の指導を外部の指導者に委託するという動きが出てきているが、県の動向も含めて現在の状況を伺う。</p> <p>学校教育課長</p> <p>県では、部活動の外部指導に係る補助を行っていると考えている。幸手市では今後、どのような体制で実施することが望ましいか研究を進めており、令和4年度中に開始したいと考えている。しかし、人の配置には当然、予算も関わってくるので、県の動向もしっかりと捉えつつ、引き続き研究を進めてまいりたい。</p> <p>《採決》 全員異議なく原案どおり議決。</p>
<p><b>議案第 15 号</b> 幸手市文化財保護条例 施行規則等の一部を改正する規則</p>	<p>総務課長</p> <p>議案書により説明する。</p> <p>《質疑》</p> <p>会田職務代理者</p> <p>本改正のうち、幸手市立小・中学校職員服務規程の一部改正については、出勤簿への押印を廃止することだが、今後の扱いについて伺う。</p> <p>学校教育課長</p> <p>事務の取り扱い上、出勤や休暇等の整理が必要となることから、出勤したらパソコンに入力するといった取組を検討している。</p> <p>藤沼委員</p> <p>今後も押印の廃止は拡大していくと思う。押印を廃止したことで管理等が甘くなることが無いよう、事後のワークフローをしっかりと整理し、監査上、問題が出ないよう進めていただきたい。</p> <p>学校教育課長</p> <p>今までと同様に、年休簿や出張命令簿等との整合性がとれるよう、改めて各学校にお伝えしたい。</p> <p>《採決》 全員異議なく原案どおり議決。</p>
<p><b>議案第 16 号</b></p>	<p>社会教育課長</p>

<p>幸手市指定文化財の指定について</p>	<p>議案書により説明する。</p> <p>《質疑》</p> <p>藤沼委員 非常に重要な文化財なので閉じたお宝とせず、シティプロモーションの材料として是非、活用していただきたい。</p> <p>社会教育課長 郷土資料館で企画展を実施するなどして、市民の皆様に広く周知したい。</p> <p>《採決》 全員異議なく原案どおり議決。</p>
<p><b>議案第 17 号</b> 教育審議会への諮問事項について</p>	<p>総務課長 議案第 17 号・第 18 号は、関連議事のため、一括して議案書により説明する。</p>
<p><b>議案第 18 号</b> 教育審議会委員について</p>	<p>《質疑》</p> <p>藤沼委員 教育審議会委員 20 人の根拠を伺う。</p> <p>総務課長 幸手市教育審議会条例で、「審議会は、委員 20 人以内で組織する。」と規定しており、この根拠に基づき 20 人を選出する。なお、選出する割振りの規定は無い。</p> <p>藤沼委員 過去にも教育審議会を設置しているかと思うが、選出のバランスは過去と同様なのか。</p> <p>総務課長 前は、吉田幼稚園の今後の方向性について諮問したことから、ある程度、その地域に特化した方を選出している。諮問する事案に応じてバランスを取っているところである。</p> <p>高島委員 2 点質問がある。 1 点目は、学識経験者からの選出を、統廃合に携わったことがある方をお願いしたいとのことだが、具体的にはどういった方を想定されているのか伺う。 2 点目は、委員の選出に当たり、男女比も考慮されているのか伺う。</p> <p>総務課長</p>

1点目の学識経験者からの選出だが、統廃合を経験された校長や教育関係者の方をお願いしたいと考えている。

2点目の男女比だが、各団体へ推薦を依頼するに当たり、特に男女の指定をする予定はない。

高島委員

具体的に人数を指定する必要はないが、可能であれば女性の推薦もお願いするといった一文を付け加えた方が良いかと思う。

教育長

高島委員がおっしゃるとおり、尚書きや備考等で男女のバランスを考慮した推薦をお願いするといった趣旨の一文を付け加えることで、偏った比率にならないかと思う。

岩崎委員

「幸手市立小・中学校適正規模・適正配置等に関する基本方針策定指針」の中で、「学校別児童生徒数と学級数の推移」が示されているが、私立中学校へ進学する児童もいることから、生徒数の推移はこの想定数より少なくなるかと思う。私立中学校への進学者数を除いた推移を示していただきたい。

また、今年度も私立中学校への進学者数が分かったらご報告いただきたい。

総務課長

平成23年度、平成28年度、令和3年度の人数は、実際に在籍している生徒数であるが、令和8年度的人数は、現在の私立中学校への進学率を考慮した数を掲載している。

なお、「児童生徒数の将来推計」の表は、人口を割り返した人数であり、進学率は考慮していない。

岩崎委員

進学率は何パーセントを見込んだのか。

総務課長

手元に資料が無いため不明である。

学校教育課長

今年度の進学者数は現在、集計中である。確認でき次第、御報告したい。

《採決》 全員異議なく原案どおり議決。

<p><b>議案第 19 号</b> 学校歯科医の委嘱について</p> <p><b>議案第 20 号</b> 学校歯科医の委嘱について</p>	<p>総務課長 議案第 19 号・第 20 号は、関連議事のため、一括して議案書により説明する。</p> <p>《質疑》 岩崎委員 西中学校は学校医が 2 名いるが、報酬は半分なのか。</p> <p>総務課長 報酬を按分してお支払いしている。</p> <p>《採決》 全員異議なく原案どおり議決。</p>
<p><b>専決報告第 3 号</b> 幸手市教育委員会表彰規程等の一部を改正する訓令</p> <p><b>専決報告第 4 号</b> 幸手市教育委員会の後援に関する事務取扱要綱の一部を改正する訓令</p>	<p>総務課長 専決報告第 3 号・第 4 号は、関連議事のため、一括して議案書により説明する。</p> <p>《質疑》 なし</p>
<p><b>日程第 3</b> <b>行政報告</b> <b>1 教育長報告</b></p> <p><b>2 事務局からの 主要な報告</b></p>	<p>教育長 1 各種教育長会議等 2 令和 4 年第 1 回幸手市議会定例会 3 各種研修会等 について資料により説明する。</p> <p>教育部長 令和 4 年第 1 回幸手市議会定例会一般質問（教育委員会部分） について資料により説明する。</p> <p>学校教育課長 1 令和 3 年度学校評価について</p>

- 2 令和3年度体罰調査について
- 3 3月中旬から4月初旬の行事予定

社会教育課長

- 1 今後の予定

社会教育課長（公民館）

- 1 うどん打ち体験講座
- 2 飛び出すカードづくり（集会所事業）
- 3 修繕工事
- 4 2月の利用状況

社会教育課長（郷土資料館）

- 1 報告事項
- 2 今後の事業予定

社会教育課長（図書館）

- 1 報告事項
- 2 利用状況
- 3 今後の事業予定
- 4 予約の多い図書（上位5冊）
- 5 購入図書リスト

社会教育課長（体育施設）

- 1 利用状況
- 2 自主事業
- 3 今後の事業予定

について資料により説明する。

《質疑》

会田職務代理者

令和4年第1回幸手市議会定例会での海老沼議員からの「コロナ禍における市民活動について」の一般質問に対し、「学校開放事業で活用している小中学校の校庭及び体育館と、公民館の料理室は、現在、使用を注視している。」と答弁しているが、これは2月末現在の状況だと思う。

その後の活用状況について伺う。

社会教育課長

まん延防止期間は、学校開放を中止していたが、昨日を以ってまん延防止期間が終了したことから、本日から開放する予定である。

会田職務代理者

4月からは、学校などの施設が開放されるということでしょうか。

社会教育課長

そのとおりである。

高島委員

青木議員からの「新型コロナウイルスの子どもへの対応について」の一般質問のうち、「受験生への影響について」の質問に対し、学級閉鎖や出席停止等により、やむを得ず学校に登校できない児童・生徒に対して、ICT等を活用して学習保障をしたと答弁されているが、これについては大変ありがたいと思う。

しかし、ICT等の活用が、活用した時間に重点を置くのではなく、質の高い活用がされているのか、また、健康面に配慮した活用がされているのか、という点にも注視する必要があると思う。

タブレット端末の画面は小さいので、黒板をただ映すのではなく、プレゼンテーションソフトを活用して大きな文字で分かりやすい表示に努めるなど、工夫して進めていただきたい。

この課題は、幸手市立小・中学校評価結果にも表れていると思う。例えば、ICTを活用した学習に対する設問に対して、教師と保護者、児童・生徒の意識が乖離している結果が出ている。

また、家庭学習の設問についても保護者と児童・生徒の意識に差があるので、この辺も含めてしっかりとこの結果を受け止めて、具体的な対応を図ることが、幸手市の更なる学力向上に繋がると思う。

学校教育課長

各校のICT等の活用について、具体的な内容の把握はまだできていないが、来年度も引き続き学校ICT検討委員会を設置するので、各学校で行われている様々な取組について情報共有を図り、更に質の高い活用となるよう進めていきたい。

また、教育行政重点施策でもお示ししたとおり、来年度、新たに配置するにはICT専門員にも協力をいただきながら、より良い活用方法を研究していきたい。

学校評価結果だが、高島委員がおっしゃるとおり、回答者の意識に差がある設問がいくつかあるので、具体的な対策を検討し、各学校の状況にあった対応を進めてまいりたい。

藤沼委員

社会教育分野で2点伺う。

1点目は、一部の店舗などで最近、顔認証型自動検温器が設置された施設が増えてきているが、社会教育施設ではまだ設置されていないかと思う。それほど高価なものでもないし、利便性を考えると是非、設置してほしいと思うが、設置の予定があるか伺う。

2点目は、東公民館で開催された「うどん打ち体験講座」だが、キャンセル待ちが出るほどの人気が高い講座だった。こういった講座は、是非、追加開催をしていただきたい。

社会教育課長

1点目の顔認証型自動検温器だが、社会教育施設ではご利用いただく前に事前に御自宅で検温をしたうえでお越しいただく体制を取っている。

しかし、まん延防止措置も解除となったことで施設の利用者が増加傾向にあることから、機器の設置について検討してまいりたい。

2点目の「うどん打ち体験講座」は、おっしゃるとおり大変人気の高い講座である。今回は、各公民館を回るような形で開催できればと考えている。

高島委員

一般質問の答弁で、令和4年度に市内の公民館へWi-Fiを設置する計画があると答弁されているが、公民館でWi-Fiを使えるようになると、近くの公民館で子どもたちが学習活動で活用できるようになり、非常に良い取組だと思う。費用はどの程度かかるのか。

社会教育課長

防災拠点への設置に係る補助金を活用した事業で、所管は危機管理防災課である。このため、費用は不明である。

岩崎委員

4点、お話ししたい。

1点目は、学校評価の設問で、教員が子どもに対して挨拶の指導ができているか、また、自分の子どもは進んであいさつができているか保護者に問う設問があるが、自ら進んで挨拶できていない大人もいるので、大人に対して「あなたも挨拶をしていますか」という設問を加えては

どうか。

2点目は、令和3年度の体罰等調査の集計結果の報告があったが、家庭内虐待の状況についても調査することができないか。

3点目は、公民館講座等の講師の氏名を報告していただくよう改善していただいたが、簡単な経歴も分かること更に親近感がわくのでお願いしたい。

4点目は、幸手市民文化会館で開催された「音楽の絵本～クールブラス～」と、「アスカルススポーツフェスティバル2022」について、詳細を伺う。

学校教育課長

1点目の御提案だが、この評価は全体的に子どもがどうかということを問う設問なので、評価の主旨からずれてしまうことから難しい。

2点目の御要望だが、虐待の実態調査は手法が非常に難しいと思う。学校では日頃から子どもたちの言動や様子に注意を払っており、何かあれば教育委員会やこども支援課で相談を受けて対応している。

社会教育課長

3点目の講師の経歴については、講師と協議しながら可能な範囲で報告したい。

4点目の各種イベントだが、「音楽の絵本～クールブラス～」は、着座して演奏を聴くイベントであった。また、「アスカルススポーツフェスティバル2022」は、新体操クラブの方の演技披露と、若干の指導を行った。いずれも感染対策を十分に取しながら開催したものである。

岩崎委員

会場はどこか。

社会教育課長

「音楽の絵本～クールブラス～」は、さくらホール。「アスカルススポーツフェスティバル2022」は、メインアリーナである。

古沢委員

2点要望したい。

1点目は、一般質問の答弁で、市立幼稚園及び小・中学校の感染対策がしっかりと行われていることが分かって、保護者として安心するとともに感謝する。

その一方で、これから暑い時期や持病等でマスクの着

用が厳しくなる子どももいると思うので、柔軟な対応や周知をお願いしたい。

2点目は、学校評価の回答は、「そう思う」、「どちらかと言えばそう思う」、「どちらかと言えばそう思わない」、「そう思わない」の4つの選択肢があるが、「どちらかと言えば」というニュアンスが、低学年にとっては理解が難しいのではないかと思うので、この回答を選択した意図を上手く読み取っていただきたい。

#### 学校教育課長

学校評価の実施方法だが、市内で統一した用紙、またはタブレット等で実施しており、保護者については、タブレット等で実施をしている。

なお、小学校1・2年生と3・4年生以上では、捉え方が異なることから、学年に応じた調査票で実施しており、子どもたちには担任が十分に説明をしたうえで回答をさせている。

「どちらかと言えば」というニュアンスについては、若干の肯定と否定が入った回答だが、回答の意図を読み解くことは難しい部分もあるかと思うので、今後の検討材料としたい。

#### 高島委員

統計学的には、「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」の境目を分けることは難しく、基本的には両方合わせて肯定的な意見と捉えて判断することになる。大きく肯定的な意見と否定的な意見に分けて判断し、具体的な対応策を検討していただければと思う。

#### 会田職務代理者

3点申し上げる。

1点目は、学校評価について私は以前から、繰り返し「分かる授業に努めていますか」という教員に対する設問に対して、「どちらかと言えば」と遠慮せず、「そう思う」と言い切れる教員になってほしいと申し上げてきた。確かに日本人は謙虚な部分があるので遠慮しがちだが、特に授業や教育相談といった大事な部分については、「そう思う」と言い切れるような教員になってほしいと思う。

2点目は、家庭学習の取組が、中学生になると下がってしまうという傾向がなかなか改善されていないと思う。幸手市では、学力向上の取組として、幸手市独自の学力・

<p><b>日程第4</b> <b>その他</b> <b>1 次回定例会の</b> <b>日程</b></p>	<p>学習状況調査の予算を付けていただくなど、様々な取組を行っているが、最終的にはやはり家庭学習が学力向上に大きく影響すると思う。否定的な回答をした生徒が3割を超えている現状をしっかりと分析し、対応策を検討していただきたい。</p> <p>3点目は、5歳以上11歳以下のワクチン接種の予定について、分かる範囲で伺う。</p> <p><b>教育部長</b></p> <p>3点目のワクチン接種だが、資料が手元に無いため詳細はお答えできないが、5歳以上11歳以下のワクチン接種を進めており、ウェルス幸手で1日100～150人の集団接種を計画している。これから順次、計画的に進めていくと聞いている。</p> <p><b>学校教育課長</b></p> <p>1点目については、会田職務代理者から毎回御要望をいただいております、都度、校長会を通じてお願いをしているところである。引き続き、校長を通じて指導していく。</p> <p>2点目の家庭学習だが、おそらく「時間を決めて毎日同じ時間に」という部分に該当しない生徒がいるのではないかと推測している。家庭学習に取り組んでいる割合自体は、数年前と比較して増加してきているので、更なる学力向上を図るためにも継続した取組を指導していく。</p> <p><b>高島委員</b></p> <p>以前にも、家庭の経済的指標と学力には相関関係があると申し上げたことがあるが、不利な環境を克服している児童・生徒の特徴として家庭学習の充実がある。幸手市の学力を上げるには、まさにそこが重要なポイントだと思う。</p> <p>それから、自信を持って取り組める教員を増やすには精神論ではなく、私は、管理職が教員をしっかりと評価し、学習指導方法の改善に繋げることが、しいては自信を持った教員が増え、結果として学力向上に繋がると思う。</p> <p>各委員の意見を調整した結果、4月の定例会については、次のとおり決定する。</p>
---	--

<p><b>2 次回の協議事項</b></p> <p><b>3 その他</b></p> <p><b>閉 会</b> 午前 11 時 45 分</p>	<p>第 4 回教育委員会定例会 日時 令和 4 年 4 月 19 日 (火) 午前 9 時 30 分 場所 市役所第二庁舎 2 階 第 1 会議室 A</p> <p>総務課長 協議の結果、次回は割愛とする。</p> <p>学校教育課長 私立中学校への進学者数を報告する。</p> <p>教育長 閉会を宣す。</p>
--	--

<p>ほか特に重要 と認める事項</p>	<p>なし</p>
	<p>上記会議の顛末を記載し相違ないことを証するため、ここに署名する。</p> <p style="text-align: right;">令和4年 4月19日</p> <p style="text-align: center;">教 育 長 山 西 実</p> <p>署名</p> <p style="text-align: center;">署 名 委 員 高 島 勝 也</p>